

**2012 年度 第 41 回 全日本 470 級ヨット選手権大会
兼 第 26 回 全日本女子 470 級ヨット選手権大会
兼 JSAF2013 年度国際 470 級ナショナルチーム代表選考レース**

共同主催：日本 470 協会、香川県ヨット連盟

公 認：(公財) 日本セーリング連盟 (H24-41)

後 援：香川県教育委員会、高松市、(公財) 高松観光コンベンション・ビューロー

協 力：香川大学ヨット部

協 賛：オクムラボート販売(株) (株)ノースセール・ジャパン(予定)

ヤマハ発動機(株) 琴平電気鉄道(株) 中商事(株) (株)シニアライフアシスト

期 日：2012 年 11 月 21 日 (水) - 11 月 25 日 (日)

場 所：大会・計測

高松市立ヨット競技場

高松市浜ノ町 67-1

競技運営説明会・開会式・レセプション

銀星旅館 (宿泊幹旋先)

高松市亀岡町 1-16

レース公示 (Notice of Race)

1. 規則

1.1 本レガッタには『セーリング競技規則(以下、RRS という)』に定義された規則を適用する。

1.2 RRS 付則 P を適用するが、一部変更しセール番号をエントリー番号に置き換える。

1.3 RRS 付則 A2 を変更し、本公示 12.2 のとおりとする。

2. 広告

艇は、主催団体より選択され提供された広告を表示するよう要求されることがある。

3. 資格及び参加

3.1 本レガッタは日本 470 協会、各国 470 協会に登録されている艇が参加できる。

3.2 参加しようとする選手は a) b)の両方、かつ c-1～3 のいずれかを満たしていること。

a) 2012 年度 (財) 日本セーリング連盟会員である

b) 2012 年度 日本 470 協会会員である

c-1) 日本 470 協会会長又は地方水域 470 協会会長の推薦を受けている

c-2) 全日本 470・全日本女子 470 歴代優勝者 (スキッパー・クルーそれぞれに権利有)

c-3) 歴代 470 級ナショナルチームの者 (スキッパー・クルーそれぞれに権利有)

3.3 参加しようとする外国籍選手は下記の全てを満たしていること。

a) 2012 年度 所属国 MNA 会員である

b) 2012 年度 所属国 470 協会会員である

c) 日本 470 協会会長の推薦を受けている

d) 日本国内で有効な賠償・傷害保険に加入している

3.4 参加資格のある選手は、10 月 10 日 (水)までに大会 HP にアクセスし、申込み欄に必要事項を記入しエントリー登録を行うとともに、10 月 26 日 (金) までに指定口座に参加料の振り込みを完了する事により参加ができる。

2012 全日本 470 級ヨット選手権大会 WEB サイト: <http://470alljpn2012.jimdo.com/>

※宿舎の幹旋を別途行う。

所定の申込書により申し込むこと。

4. 参加料

必要な参加料は下記のとおりとする。

エントリー料 1 艇 30,000 円 (エントリー番号料 1 艇 1,000 円を含む)

但し前年度優勝チームが同一メンバーでエントリーする場合は免除する。

振り込み先 三菱東京UFJ銀行 銀座通支店

普通口座 0041494 カトウ マサコ

※振込名は、Sail No.と振込者名の順で記入すること。例：4700 ヨナタカワ

※複数艇分一括振込の際は、申込時に備考欄へ団体名を記入し、振込代表チーム Sail No.

と団体名でお振込み下さい。例：4700〇〇ダイガク

参加料には高松市立ヨット競技場で必要となる「艇置き料」は含まれていない。

「艇置き料」は搬入時に別途競技場へ支払うこと。

5m未満の艇 1日 690 円、 支援艇の棧橋使用料 1日 2,450 円

※2012.4.1 現在の価格

5. 日程

5.1 レース日程

11月21日(水) 08:45 受付・登録 (15:30 まで)

9:30 計測 (16:00 まで)

18:00 競技運営説明会 (各艇又はチームの出席確認を行う。)

会場：銀星旅館 (宿泊幹旋先)

19:00 開会式

11月22日(木) 08:30 ブリーフィング

09:45 予選 第1レース スタート予告信号予定時刻

11月23日(金) 08:30 ブリーフィング

09:45 予選 その日の最初レース スタート予告信号予定時刻

19:00 レセプション

会場：銀星旅館 (宿泊幹旋先)

11月24日(土) 08:30 ブリーフィング

09:45 決勝 第1レース スタート予告信号予定時刻

11月25日(日) 08:30 ブリーフィング

09:45 決勝 その日の最初レース スタート予告信号予定時刻

16:00 閉会式

※毎週火曜日はヨット競技場の定休日だが、11月20日(火)については、通常通り 8:30～

17:00 臨時営業する。

5.2 本レガッタは、予選レース・決勝レースとも各々7レース、全14レースを予定している。

1日に実施するレース数は最大5レースとするが、各日の実施レース数はレース委員会の裁量によるものとする。

5.3 各日とも、その日の最初のレースが終了後、引き続き次のレースを実施する。

11月25日は、13:30 より後の予告信号は発せられない。

6. レース方式

6.1 全日本女子470級ヨット選手権大会は全日本470級ヨット選手権大会に含まれた大会である。

全日本女子470級ヨット選手権大会と全日本470級ヨット選手権大会は同時にスタート、男女分けずに総合得点を計算し、女子選手の中で総合得点の少ない順位で全日本女子470級ヨット選手権大会の順位付けをおこなう。

6.2 各レースは以下のとおり実施する。

予選レース：トライアングルコースを用いて行う。

原則全艇同時スタートとするが、参加艇数によってグループ分けを行う場合がある。

決勝レース：トライアングルコースを用い、原則予選の成績順に上位半数のゴールドフリートと下位半分のシルバーフリートにグループ分けしてスタートさせる。

参加艇数によっては、フリート分けを行わない場合がある。

※ ゴールドフリートはシルバーフリートと同数、又はシルバーフリート+1 艇とする。

6.3 大会が成立するには全 3 レースが完了していなければならない。

なお、予選レースは 2 レース以上で成立とし、成立してから決勝レースを行う。

- a) 11 月 23 日終了時点で予選レースが成立していない場合、11 月 24 日の決勝レース日を予選レース日にあてる。
- b) 11 月 24 日終了時点で予選レースが成立していない場合、11 月 25 日の決勝レース日を予選レース日にあてる。
- c) 決勝レースが行われなかった場合、予選レースの成績で順位付けをおこなう。
- d) 決勝レースが行われた場合かつフリート分けを行った場合、ゴールドフリートの中で総合得点の少ない順位で順位付けをおこなった後、シルバーフリートの中で総合得点の少ない順位で順位付けをおこなう。

7. 計測

7.1 艇は MC/MF を持参し、計測時に提示しなければならない。

7.2 セールは基本計測が完了していなければならない。

予選レース、決勝レースを 1 つのレガッタと考え、セール計測は 1 セットのみ実施する。

7.3 計測の手順等は、受付時に指示する。

7.4 艇または装備は、規則に従っていることを確認するために、いつでも検査されることがある。

8. 帆走指示書

8.1 帆走指示書は 11 月 5 日までに日本 470 協会の HP にアップされる。

又、大会受付時に交付される。

8.2 帆走指示書に対する質問は、11 月 15 日まで e-mail にて受け付ける。

E-mail : sailing_470class@yahoo.co.jp

8.3 帆走指示書に対する質問への回答は、大会受付時に大会公式掲示板に掲示する。

上記 8.2 以外の方法での質問は受け付けない。

9. 競技運営説明会

海面の利用等における重要な説明を行うため、各艇又はチームは必ず参加すること。

10. レースエリア

添付図に示す。

11. コース

トライアングルコース

詳細コース図は帆走指示書に記載する。

12. 得点

12.1 RRS 付則 A の低得点方式を使用する。

12.2 艇のシリーズの得点は以下のとおりとする。

- a) 予選レースと決勝レースの得点の合計とする。
- b) 予選レースの成立が 4 レース以下の場合、予選レースの得点は全レースの得点の合計とする。
- c) 予選レースの成立が 5 レース以上の場合、予選レースの得点は最も悪い得点を除外したレースの得点の合計とする。
- d) 決勝レースの成立が 4 レース以下の場合、決勝レースの得点は全レースの得点の合計とする。
- e) 決勝レースの成立が 5 レース以上の場合、決勝レースの得点は最も悪い得点を除外したレースの得点の合計とする。

13. 支援艇

13.1 支援艇を出艇させる場合、受付時に登録しなければならない。

13.2 支援艇は、原則毎日上架できる仕様でなければならない。

13.3 支援艇は帆走指示書で指示する項目に従わなければならない。

14. 賞

14.1 全日本 470 級ヨット選手権大会の賞は次のように与える。

- 優勝 優勝杯（持ち回り杯）、賞状及び賞品
- 2 位-6 位 賞状及び賞品
- 7 位-8 位 賞状

14.2 全日本女子 470 級ヨット選手権大会の賞は次のように与える。

- 優勝 優勝杯（持ち回り杯）、賞状、賞品及び副賞
- 2 位-3 位 賞状、賞品及び副賞

14.3 全日本 470 級選手権大会の男女上位 2 チームを 2013 年ナショナルチームに推薦する。

14.4 日本国籍を有する 2013 年 12 月 31 日時点で満 22 歳未満の（スキッパー、クルー共に）各男女に最上位のチームを 2013 年国際 470 級ジュニア世界選手権大会代表チームとする。ただし、江ノ島オリンピックウィークの最上位チームと同一の場合は次の上位チームに順位を繰り下げ代表資格を与える。

15. 無線通信

緊急の場合を除き、レース中の艇は無線送信、すべての艇が利用できない無線通信の受信をしてはならない。またこの制限は、携帯電話にも適用する。

16. 免責

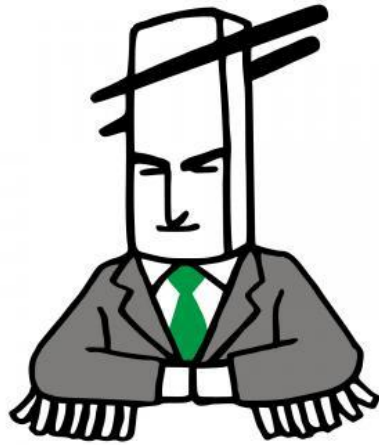
このレガッタの競技者は自分自身の責任で参加する。規則 4 [レースすることの決定] を参照。主催団体及び運営のボランティアスタッフは、レガッタの前後、期間中に生じた物理的な損害または身体障害もしくは死亡によるいかなる責任も負わない。

そのため、それぞれの参加艇は、自己の責任と負担において、自己及び第三者のあらゆる損害をカバーすることができる保険に加入する等、自己の責任にて担保すること。

17. 肖像権

選手の氏名を含む成績表が、日本 470 協会の HP 等に掲載される。

大会期間中の写真、映像等が日本 470 協会の HP 等に掲載される場合がある。



うどん県
それだけ
じゃない
香川県

その他（参考情報）

以下はレース公示に含まない、一般の連絡事項である。

- ① 昼食の幹旋は行わないので、各チームで準備すること。
- ② 高松市立ヨット競技場の職員常駐時間は 08:30-17:00 となっている。
原則として時間外の艇、支援艇の搬入と搬出は出来ない。
ただし最終日の搬出に関しては、時間を延長する場合がある。
- ③ 事前練習に際しては、高松市立ヨット競技場の注意事項等を厳守すること。
- ④ このエリアにおいては、マークブイの設置は事前に保安部からの許可が必要なため、練習時にも各チームでマーク等は打たないこと。
- ⑤ レースエリアにおいても漁船等との接近を避け、特に操業中の漁船及び網具はレース中であっても避けること。
- ⑥ 宿泊の幹旋を別途行う。
幹旋先以外に宿泊する場合は、大会受付時に宿泊先を申し出ること。

添付図 レースエリア

マーク設置位置は航路とは 400m の間隔を設ける。

